

水道事業会計

1. 概 況

(1) 総括事項

水道事業

本市の水道事業は、給水人口の減少や景気の低迷の影響及び節水意識の定着により、使用水量が平成6年をピークに年々減少していく傾向にあります。

こうしたなかで、安全で良質な水の安定供給を図りながら、防鹿水源地（浄水場）の運転管理業務等を民間に委託し組織の合理化や、経費の節減等による経営の健全化に努めた結果、今年度も利益を出すことが出来ました。

(ア) 営 業

本年度の有収水量は、3,936,559^m₃（1日平均10,785^m₃）で、前年度と比較して73,032^m₃（1.8%）の減少となりました。

(イ) 建設改良（消費税及び地方消費税込み）

本年度は、施設の改良工事等に総額で123,396,200円（うち消費税及び地方消費税5,876,007円）を支出しました。

本年度に実施した主な工事は、以下のとおりです。

・緩速ろ過池（1号）改修工事	18,927,300円
・元町一・二丁目地内配水管改良工事	34,811,700円

(ウ) 経理の状況（消費税及び地方消費税抜き）

平成18年度の収益的収支は、収入総額571,082,417円、支出総額563,819,452円で、差引き7,262,965円の純利益となりました。

当年度における収支の状況は次のとおりです。

収益的収支	収入総額	571,082,417円
（消費税及び地方消費税抜き）	支出総額	563,819,452円
	差引利益額	7,262,965円

資本的収支	収入総額	58,984,016円
（消費税及び地方消費税込み）	支出総額	483,539,674円
	差引不足額	424,555,658円

資本的収支の不足額424,555,658円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,281,884円、過年度分損益勘定留保資金421,273,774円で補てんしました。

工業用水道事業会計

1. 概 況

(1) 総括事項

工業用水道事業

工業用水道事業は、効率的な事業運営など財政の健全化に努めましたが、第2期工業用水道事業の企業債償還利息及び減価償却費が費用化されたことに伴い、これらの要因が財政を大きく圧迫することとなり、本年度も経常損失となりました。

また、資金不足に対応するため、前年度に引き続き水道事業会計から 300,000 千円を借り入れました。

(ア) 営 業

本年度の有収水量は、14,553,883^m（1日平均 39,874^m）で、前年度と比較して 503,836^m（3.59%）の増量となりました。

(イ) 建設改良

該当事項なし

(ウ) 経理の状況（消費税及び地方消費税抜き）

平成18年度の収益的収支は、収入総額 361,588,266 円、支出総額 569,188,491 円で、差引き 207,600,225 円の純損失となりました。

当年度における収支の状況は次のとおりです。

収益的収支	収入総額	361,588,266円
(消費税及び地方消費税抜き)	支出総額	569,188,491円
	差引不足額	207,600,225円
資本的収支	収入総額	616,000円
(消費税及び地方消費税込み)	支出総額	294,767,994円
	差引不足額	294,151,994円

資本的収支の不足額 294,151,994 円は、当年度分損益勘定留保資金等 294,151,994 円で補てんしました。

公共下水道事業会計

1. 概 況

(1) 総括事項

公共下水道事業

平成18年度より水道局と下水道課を統合し上下水道局として発足しました。これに合わせ公共下水道事業の地方公営企業法全部適用を行い、公営企業会計へ移行しました。

本市では、安全で快適な生活を営むうえで必要不可欠であるうえ、河川等の水質保全など生活環境の向上を目的として、下水道整備を昭和35年より工事に着手し昭和45年に供用開始と早い段階より事業展開を行ってきました。

このことで、本市の公共下水道事業は建設段階から維持管理段階へ移行しており、今後は安定した事業経営を行うため経営状況の改善に努めてまいります。

(ア) 営 業

本年度の有収水量は、3,554,115 m^3 （1日平均 9,737 m^3 ）、和木町からの受入水量は1,764,380 m^3 （1日平均 4,834 m^3 ）になりました。

本市では、区域内水洗化率98.6%を達成し人口普及率も93.3%と高い水準を維持しています。

(イ) 建設改良（消費税及び地方消費税込み）

本年度は、施設の改良工事費に総額で206,262,604円（うち消費税及び地方消費税9,139,679円）を支出しました。

本年度に実施した主な工事は、以下のとおりです。

・ 下水処理場脱水棟バルコン・ホッパー 改築更新工事	79,598,200円
・ 小島雨水排水ポンプ場改築更新工事	28,271,250円
・ 木野2丁目管渠布設工事	42,032,550円
・ 木野2丁目管渠布設工事（繰越分）	10,994,350円

(ウ) 経理の状況（消費税及び地方消費税抜き）

平成18年度の収益的収支は、収入総額870,927,238円、支出総額891,233,567円で、差引き20,306,329円の純損失となりました。

当年度における収支の状況は次のとおりです。

収益的収支	収入総額	870,927,238円
（消費税及び地方消費税抜き）	支出総額	891,233,567円
	差引不足額	20,306,329円

資本的収支	収入総額	314,590,021円
（消費税及び地方消費税込み）	支出総額	705,660,740円
	差引不足額	391,070,719円

資本的収支の不足額391,070,719円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額5,466,211円、当年度分損益勘定留保資金290,775,798円で補てんし、一時借入金94,828,710円で措置しました。